

◇設立の趣旨について

近年の交通・通信手段の発達により、海外旅行者の数はめざましく増加し、また、世界中の出来事が即座に伝えられるようになりました。このような時代に生きる私達は、もはや国家という単位ではなく、国際社会の一員として物事をとらえていかなければならないのではないのでしょうか。しかし、現在経済大国となった日本は、国際的な活動をもっと積極的に押し進め、世界に対してより大きな役割を果たすことができるのではないかと指摘されています。

渥美国際交流奨学財団は、1993年10月14日に物故いたしました渥美健夫鹿島建設名誉会長の遺志により、このような状況にあります日本の国際化の推進にささやかながらもお役に立ちたいという願いをこめて設立されました。当財団は諸外国から日本の大学院に留学している優秀な学生に対し、奨学援助をいたします。日本にやって来た留学生が、学問を成就するだけでなく、豊かな文化や社会に触れ、より大きな収穫を得ることができますようお手伝いさせていただきたいと思っております。

渥美氏は、アジア、西太平洋建設業協会国際連盟（IFAWPCA）会長、世界建設業連盟（CICA）会長、及び社団法人CISV日本協会会長を長年にわたって勤め、国際交流に尽くしてまいりました。CISV（国際こども村）とは、「世界の平和を築くためには子供の時から機会を与え、国籍・人種・言語を越えて同じ人間であることを肌で実感させることが何より大切」という理想のもとに1951年アメリカで始められた平和運動で、毎年世界各地で子供達を集めてキャンプを行なっています。

また、渥美健夫・伊都子夫妻は、ニューヨークのコロンビア大学に日本美術史の冠講座を寄付いたしました。これによりコロンビア大学では、日本美術史の教授職が常置されことになりました。

渥美国際交流奨学財団は、渥美氏の国際交流の促進への信念を引き継ぎ、一層の発展をめざして、活動してまいりたいと思っております。若者たちがより大きな世界を知るよう支援させていただくことによって、人々の心の中に国際理解と親善の芽が生まれ、やがては世界平和への道がひらかれてゆくことを願っております。

◇2000年度業務日誌

- 4月 7日 4月例会：食事会(日中友好会館豫園)
 11日 この日より英会話レッスン(上中級毎月2回:M.Parent 講師)
- 5月 4日 ラクーン会@台北
 6日 ラクーン会・バーベキュー@東京
 8日 5月例会：個人面談(12日まで)
 16日 1999年度会計監査
- 6月 5日 1999年度年報発行
 6日 第13回理事会・評議員会(1999年度事業報告と決算報告)親睦会(6月例会)
- 7月 1日 募集要項配布開始(関東地方の大学に通知・ホームページに掲載)
 7日 SGRA 設立発起人総会
 21日 軽井沢レクリエーション旅行(23日まで)
 26日 SGRA 設立記念講演会(慶應義塾大学)→SGRA レポート#1
 29日 ラクーン会@ソウル
 30日 CISV シンポジウムで発表(SGRA 研究員)→SGRA レポート#2
- 8月17日 ラクーン会@ボストン
 22日 ラクーン会@ニューヨーク
- 9月 1日 9月例会：個人面談(8日まで)
 13日 ラクーン会@ソレント
 30日 2001年度奨学生応募締め切り(応募者総数191名)
- 10月 1日 2001年度奨学生第一回書類審査
 3日 渥美奨学生の集い(11月例会)畑村洋太郎教授講演会「技術の創造」
 →SGRA レポート#3
- 18日 10月例会：食事会(スリランカ料理)
 26日 2001年度予備面接(11月1日まで)
 31日 特定公益増進法人の許可に伴う寄附のお願い(1月まで)
- 11月 9日 SGRA 第一回研究会「地球市民のみなさんへ」→SGRA レポート#4
 18日 ラクーン会@バンコク
 21日 ラクーン会@ヤンゴン
- 12月 1日 12月例会：個人面談(7日まで)
 7日 ラクーン会忘年会(上野東天紅)
- 1月13日 新年会(1月例会)
 2月 5日 2月例会：個人面談(9日まで)
 9日 SGRA 第2回研究会「グローバル化と新しい東アジア」→SGRA レポート#5
 21日 第14回理事会・評議員会(2001年度事業計画と予算)
 22日 文京区関口台小学校の国際理解学級に講師派遣
 (曾支農 マリーサ 羅仁淑 アティオレ エマニュエル ススキヒロミ サウ
 ナイラ パティランネレーケ チャントラシ)
- 3月 3日 2000年度奨学生研究報告会(3月例会)
 4日 2000年度奨学生最終食事会(メキシコ料理)

◇収支決算明細書

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
<u>基本財産運用収入</u>		事業費	37,601,788
基本財産配当金	28,000,000	管理費	10,692,751
基本財産債券利息	12,070,000	次期繰越収支差額	55,349,008
基本財産預金利息	88		
<u>寄附金収入</u>			
寄附金	7,400,000		
<u>雑収入</u>			
運用財産受取利息	8,231		
貸与奨学金返戻収入	600,000		
前期繰越収支差額	55,565,288		
収入合計	103,643,547	支出合計	103,643,547

◇貸借対照表(2001年3月31日現在)

(単位：円)

資産の部		正味財産の部	
I. 流動資産		I. 基本金	
1. 現金	20,892	1. 基本財産	700,000,000
2. 普通預金	15,328,116	II. 当期収支差額	55,349,008
流動資産計	15,349,008		
II. 固定資産			
基本財産			
1. 投資有価証券	699,825,863		
2. 普通預金	174,137		
基本財産計	700,000,000		
奨学資金積立基金			
定期預金	40,000,000		
固定資産計	740,000,000		
資産合計	755,349,008	正味財産合計	755,349,008

◇財団人名簿

(2001年6月現在)

★ 理事・監事

理事長	渥美 伊都子	C I S V日本協会会長・日本ユニセフ理事・アジア婦人友好会副会長
常務理事	今西 淳子	C I S V国際理事
理事	渥美 直紀	鹿島建設専務取締役・大興物産会長
	井内 慶次郎	日本視聴覚教育協会会長
	片岡 達治	癌研究会癌化学療法センター主任研究員
	加美山 節	国際基督教大学基金理事
	加藤 秀樹	構想日本代表・慶應義塾大学教授（総合政策）
	黒川 光博	虎屋社長
	佐藤 直子	ナオコ・カンパニー代表
	田村 次朗	慶應義塾大学教授（法学）
	遠山 友寛	T M I 総合法律事務所パートナー（弁護士）
	永山 治	中外製薬社長
	野辺地 篤郎	元聖路加国際病院院長
	宮崎 裕子	長島・大野・常松法律事務所パートナー（弁護士）
監事	石井 茂雄	石井公認会計士事務所所長
	松岡 誠司	元日本債券信用銀行会長

★ 評議員

青木 生子	元日本女子大学学長（国文学）
秋山 光和	東京大学名誉教授（美術史）
渥美 謙二	オリコ生命保険特別顧問
渥美 雅也	マルハ海外事業部課長
岩崎 統子	成城学園高校教諭
植田 兼司	弁護士
長岡 實	東証正会員協会顧問・日本たばこ産業顧問
船橋 洋一	朝日新聞コラムニスト
村上 光春	鹿島リース社長
森川 敏雄	三井住友銀行相談役
山縣 睦	山縣有朋記念館理事長・栃木産業社長
山下 英明	世界秩序研究会顧問・企業活力研究所会長
八城 政基	新生銀行代表取締役社長

★ 選考委員

委員長	畑村 洋太郎	東京大学名誉教授、工学院大学教授（産業機械工学）
	蟻川 芳子	日本女子大学理工学部教授（環境分析化学）
	佐野 みどり	成城大学文芸学部教授（美術史）
	田村 次朗	（理事）
	水谷 弘	専修大学商学部教授（比較文化）

★ 事務局

事務局長	嶋津 忠廣
カウンセラー	ペーレント・マルコム
事務局	谷原 正
	村田 由紀

◇ 奨学生名簿

1995年度奨学生

- Bambling, Michele** バンプリング・ミッシェル：博士（美術史）コロンビア大学：（在ニューヨーク）
- Gao Lingna** 高玲娜：博士（社会学）一橋大学：上海大学講師（在上海）
- Gao Weijun** 高偉俊：博士（建設工学）早稲田大学：北九州市立大学国際環境工学部環境空間デザイン学科助教授，早稲田大学理工学総合研究センター九州研究所客員助教授
- Jin Xi** 金熙：博士（物理情報学）東京工業大学：日本SGI（株）
- Kwack Jae-Woo** 郭在祐：博士（美術史）学習院大学：在東京
- Maquito, Ferdinand** マキト・フェルディナント：博士（経済学）東京大学：テンプル大学ジャパン客員講師
- Park Chul-Ju** 朴哲主：博士（商学）慶應義塾大学：三育義明大学流通経営学科専任講師（在ソウル）
- Park Jungran** 朴貞蘭：博士（文学）日本女子大学：仁済大学校社会福祉学科専任講師（在韓国金海）
- Shi Jianming** 施建明：博士（社会工学）筑波大学：東京理科大学経営学部経営学科助手
- Yao Hui** 葉会：早稲田大学大学院（日本文学）：法政大学国際文化学部非常勤講師
- Youn Seokhee** 尹錫姫：博士（商学）専修大学：崇實大学講師、仁川大学、ソウル保険大学非常勤講師

阪神大震災被災特別奨学生

- Chen Xiao** 陳暁：神戸大学大学院（医学）
- Hoyng Der-juinn** 洪徳俊：博士（経済学）神戸大学：国立中央大学経営学部学部長（在台北）
- Wang Libin** 王立彬：博士（自然科学）神戸大学：東洋インキ製造（株）

付録

1996年度奨学生

Chantachote, Viravat チャンタチャテ・ビラハット : 博士 (法学) 慶應義塾大学 : タマサート大学法学部助手 (在バンコク)

Gulenc, Selim Yucel グランチ・セリム ユジェル : 東京大学大学院 (政治学) : 東京ジャーミー

Khin Maung Htwe キン マウン トウエ : 博士 (応用物理) 早稲田大学 : 早稲田大学理工学総合研究センター客員研究員・Neptune Co.,Ltd (在ヤンゴン)

Kim Woong-Hee 金雄熙 : 博士 (国際政治) 筑波大学 : 仁荷大学経済通商学部専任講師 (在ソウル)

Lee Nae-Chan 李來賛 : 博士 (管理工学) 慶應義塾大学 : 通信政策研究院公正競争研究室専任研究員 (在ソウル)

Nam Ki Jeong 南基正 : 博士 (国際関係論) 東京大学 : 東北大学大学院法学研究科助教授

Park Keunhong 朴根弘 : 博士 (生命理工学) 東京工業大学

Qiao Xin 喬辛 : 博士 (無機材料工学) 東京工業大学 : ボイス大学工学研究科研究員 (在アイダホ)

Trede, Melanie トレデ・メラニ : 博士 (美術史) ハイデルベルク大学大学院 : ニューヨーク大学美術史研究科助教授 (在ニューヨーク)

Zhao Qing 趙青 : お茶の水女子大学大学院 (比較文化) : 在東京

Zhu Tingyao 朱庭耀 : 博士 (船舶海洋工学) 東京大学 : 日本海事協会NK研究所

1997年度奨学生

De Maio, Silvana デ・マイオ・シルヴァーナ : 博士 (技術史) 東京工業大学 : 中亜協東協会講師, レッチェ大学講師 (在イタリア)

Fang Meili 方美麗 : 博士 (言語学) お茶の水女子大学 : 筑波大学外国人教師

Isananto, Winursito イサント・ウイヌルト : 博士 (応用科学) 慶應義塾大学 : インドネシア通産省皮革関連産業開発研究センター研究員 (在ジョクジャカルタ)

Kim Woesook 金外淑 : 博士 (健康科学) 早稲田大学 : 埼玉女子大学助教授

Laohaburanakit Kanokwan, Noi ラオハブ・ラナキット・カノクワン・ノイ : 博士 (言語学) 筑波大学 : チュラロンコン大学人文学部講師 (在バンコク)

Lee Hyang-Chul 李香哲 : 博士 (経済学) 一橋大学 : 光云大学日本学科教授・近現代日本経済史助教授 (在ソウル)

Li Enmin 李恩民 : 博士 (社会学) 一橋大学 : 宇都宮大学国際学部外国人教師

Nizamidin Jappar ニザミディン・ジャッパル : 博士 (応用化学) 東京大学 : 昭和電工 (株)

Wang Yuepeng 王岳鵬 : 博士 (医学) 東京大学 : 東京大学医学研究科ポスドク研究員

Williams, Duncan ウィリアムズ・ダンカン : 博士 (宗教学) ハーバード大学 : トリニティーカレッジ助教授

Zhang Shao-Min 張紹敏 : 博士 (医学) 東京大学 : エール大学医学部研究員 (在ニューヘブレン)

1998年度奨学生

Adiole Emmanuel アディオレ エマニュエル : 東京大学大学院 (政治学)

- Cao Bo** 曹波：博士（建設工学）早稲田大学：早稲田大学理工総合研究センター客員研究員
- He Zuyuan** 何祖源：博士（先端学際工学）東京大学：Lead Engineer, Ciena Corporation, USA(在メリーランド)
- Hu Jie** 胡潔：博士（文学）お茶の水女子大：お茶の水女子大学人間文化研究科助手
- Kim Jaesung** 金宰晟：東京大学大学院（仏教学）：在ソウル
- La Insook** 羅仁淑：早稲田大学大学院(経済学)：国土館大学経済学部非常勤講師
- Lee JooHo** 李周浩：博士（電子工学）東京大学：東京大学生産技術研究所機関研究員
- Mailisa** マイリーサ：博士（社会学）一橋大学大学院：立教大学非常勤講師
- Sun Yanping** 孫艶萍：博士（医学）東京大学：ハーバード大学ブリッグム病院研究員(在ボストン)
- Wu Hongmin** 呉弘敏：博士（精密工学）東京工業大学：フクダ電子（株）
- Xu Xiaoyuan** 許曉原：博士（農学生命科学）東京大学：テネシー大学薬学部薬理研究室（在メンフィス）

1999年度奨学生

- Coimbra, Maria R.M.** コインブラ・マリア・ハク・モウラ：博士（資源育成学）東京水産大学：ペナンブコ大学研究員（在ブラジル）
- Hong Kyung-Jin** 洪京珍：博士（化学工学）東京工業大学：東京工業大学理工学研究科助手
- Hou Yankun** 侯延琨：博士（物理電子化学）東京工業大学：エール大学薬学部ポスドク研究員（在ニューヘブレン）
- Ju Yan** 具延：博士（農学）筑波大学：小西安株式会社
- Li Ganzhe** 李鋼哲：立教大学大学院（経済学）：東京財団研究員
- Mushikasinthorn, Prachya** ムシカシン・ン・プ・ラチャ：博士（資源育成学）東京水産大学：カセサート大学水産自然史博物館学芸員兼講師（在バンコク）
- Vu Thi Minh Chi** ブ・ティ・ミン・チィ：博士（教育社会学）一橋大学：人間科学研究所（在ハノイ）
- Wang Dan** 王旦：博士（音楽）東京芸術大学：
- Yang Jie Chi** 楊接期：博士（教育工学）東京工業大学：国立中央大学情報工学研究科研究員（在台北）
- Yeh Wen-chang** 葉文昌：博士（電子物理光学）東京工業大学：工業技術研究院材料研究所太陽電池組（在新竹）
- Zhou Haiyan** 周海燕：博士（医学）東京医科歯科大学：東海大学医学部

2000年度奨学生

- Jin Zhengwu** 金政武：博士（物質科学）東京工業大学：物質材料研究機構ナノマテリアル研究所研究員
- Jung Jae Ho** 鄭在皓：博士（物質科学）慶應義塾大学：在韩国
- Jung Sung Chun** 鄭成春：（経済学）一橋大学大学院経済学研究科
- Ko Hee Tak** 高熙卓：（総合文化）東京大学大学院総合文化研究科
- Lim Chuantiong** 林泉忠：（国際政治）東京大学大学院国際政治研究科：在香港
- Molnar Margit** モルナル・マルギット：（経済学）慶應義塾大学：OECD勤務(在パリ)

付録

Naiwala Pathirannehelage Chandrasiri ナイワラ パティランネハラゲ チャンドラシ : 博士 (電子情報) 東京大学 : 東京大学大学院工学系研究科助手

Ren Yong 任永 : 博士 (医学) 群馬大学 : ニューヨーク州立大学医学部研究員 (在バツファロー)

Suzuki Sato, Hiromi スズキ サトウ ヒロミ : (経済学) 慶應義塾大学大学院経済学研究科

Wu Yuping 武玉萍 : (医学) 千葉大学 : 千葉大学大学院医学系研究科研究員

Xu Xiangdong 徐向東 : 博士 (社会学) 立教大学 : 日経リサーチセンター研究員

Zeng Zhinong 曾支農 : 博士 (アジア文化) 東京大学 : 東京大学東洋文化研究所外国人研究員

2001年度奨学生

Borjigin, Burensain ホルジギン・ブレンサイン : 早稲田大学 (東洋史)

Fan Jianting 範建亭 : 一橋大学 (国際経済学)

Jeon Jin Hwan 全振煥 : 東京工業大学 (環境理工学)

Jiang Huiling 蔣恵玲 : 横浜国立大学 (電子情報工学)

Jin Xianghai 金香海 : 中央大学 (政治学)

Kostov, Vlaho コストフ・ブラホ : 東京都立科学技術大学 (工学システム)

Lee Hyun-Young 李炫瑛 : お茶の水女子大学 (比較文化)

Lee Young-Suk 李英淑 : 筑波大学 (教育学)

Liang Xingguo 梁興国 : 東京大学 (化学生命工学)

Lwin U Htay ルインユタイ : 東京医科歯科大学 (公衆衛生学)

Qi Jin Feng 奇錦峰 : 東京医科歯科大学 (薬理学)

Sri Sumantyo, Josaphat Tetuko ヨソファット テトコ・スリ スマンティヨ : 千葉大学 (人工システム科学)

◇ 2002年度渥美奨学生募集概要

渥美国際交流奨学財団は、関東地方の大学院博士課程に在籍する留学生を対象に、2002年度奨学生を下記の通り募集します。

(1) 応募資格（下記の資格すべてに該当すること）

1. 日本以外の国籍を有し、関東地方の大学院に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのあるもの。正規在籍年限を超えたために、或いは、他国の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍するものも含む。
2. 自分の所属する大学院研究科（研究室）および自分の居住地が関東地方（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県）にあるもの。
3. 国際理解と親善に関心をもち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のあるもの。

(2) 交流活動

1. 当財団は、毎月の例会で学業や生活について報告していただいた上で、奨学金を支給します。
2. 毎年数回奨学生や元奨学生と当財団の理事・評議員ならびに選考委員を招き親睦会を催します。年度末には当該年度奨学生の研究報告会を催します。
3. 毎年7月に2泊3日の軽井沢リクリエーション旅行に招待します。
4. 海外学会派遣プログラム：渥美奨学生で博士号を取得したのものには、海外で開催される学会等に一回参加するための旅費・宿泊費および参加費を支給します。ただし、海外にいる者は日本への旅費にあてることができません。

(3) 奨学金の詳細

1. 奨学金は月額20万円です。**2002**年度は**12**名採用します。
2. 奨学金の支給期間は1年間（**2002**年4月～**2003**年3月）とします。継続は認められません。

(4) 募集方法

1. 奨学金希望者は、**2001**年7月1日以後、各大学院の留学生担当課または当財団事務局まで、応募要項と申込書をご請求下さい。また、同日以後、当財団ホームページ（<http://www.aisf.or.jp>）からもダウンロードできます。
2. 2002年度申込は、2001年9月1日から9月30日まで、郵便にて受け付けます。

(5) 選考の方法

事務局における書類審査と予備面接の後、選考委員による書類選考と面接により審査します。選考の結果は11月下旬に通知します。